# がん医療の未来に向けて

愛知県がんセンター研究所 共通基盤領域 バイオバンク部門

## がんの研究の必要性



・ がんの診断や治療の精度を向上させる



・ がんの予防や治療法の開発に役立てる



・がんの発生要因やリスク要因を特定する



これらの研究を行うためには、たくさんの試料 (血液など)と情報が必要です。

## バイオバンクの役割



バイオバンクは、がんの研究を行うためのたく さんの試料(血液など)と情報を保管管理し、 一定の審査基準を満たした研究に提供する銀行 のような役割をしています。



バイオバンク 協力者











研究

## バイオバンクの役割



研究者はバイオバンクを利用することで、より早く、より多くの試料や情報を用いて研究を行うことが出来ます。また、バイオバンクでは、

試料や情報の品質管理を しっかり行っているため、 研究者は質の高い研究を 行うことが出来ます。



#### キャンサーバイオバンク愛知



愛知県がんセンターは2017年にキャンサーバイ

オバンク愛知を設立しました。

バイオバンクへの協力は、

愛知県がんセンター病院を

初めて受診する患者さんに

お願いしています。



#### キャンサーバイオバンク愛知



キャンサーバイオバンク愛知では患者さんに3つのことをお願いしています。

- ①診療情報の研究利用
- ② 研究用の血液の提供
- ③健康と生活習慣に関する調査票の記入

#### キャンサーバイオバンク愛知



説明を受けた患者さんのうち、8~9割の患者さ

んにご同意をいただいています。

設立から7年余りが経過し、

ご協力いただいた30,122名

の患者さんの試料や情報を

保管・管理しています。



### 血液の保管



血液を処理して分注したチューブは、二次元 バーコードで管理され、-80℃のフリーザーで





### 情報の保管





患者さんの情報は個人情報を削除し、誰のものかわからない状態にしてから厳重に保管・管理しています。

### 研究利用



2022年から研究への利用も開始し、現在6件の研究が進められています。

実施中の研究は、

https://cancer-

c. pref. aichi. jp/cbba/information. html、に掲載されます。



#### 研究実績



- ・ 抗がん剤パクリタキセル・ナブパク リタキセルの重大な副作用の一つに 白血球減少があります。
- これはがん細胞のみならず、骨髄の 造血細胞内にも抗がん剤が溜まり、 造血が抑えられる事により起きます。
- この白血球減少の起こしやすさに、 抗がん剤を細胞外に排出するタンパ クであるABCB1の遺伝子の個人差が影 響ないかを検討したところ、重篤な 白血球減少が28倍起こりやすくなる 遺伝子多型を発見しました。
- ・薬剤部前田章光先生等の研究として、 バイオバンクのデータとサンプルが 活用されました。

Received: 28 September 2024 Revised: 11 November 2024 Accepted: 14 November 2024

DOI: 10.1111/bcp.16359

#### ORIGINAL ARTICLE



Impact of ABCB1 single-nucleotide variants on early, extremely severe neutropenia induced by paclitaxel/nanoparticle albumin-bound paclitaxel in patients with gastric cancer

Akimitsu Maeda<sup>1</sup> | Keitaro Matsuo<sup>2,3</sup> | Hitoshi Ando<sup>4</sup> | Jun-ichi Morishige<sup>4</sup> | Kei Muro<sup>5</sup> | Kosaku Uchida<sup>1</sup> | Masahiro Tajika<sup>6</sup>

<sup>1</sup>Department of Pharmacy, Aichi Cancer Center Hospital, Nagoya, Aichi, Japan <sup>2</sup>Division of Cancer Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center, Nagova.

<sup>3</sup>Division of Cancer Epidemiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagova, Aichi, Japan

<sup>4</sup>Department of Cellular and Molecular Function Analysis, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa, Ishikawa, Japan

<sup>5</sup>Department of Clinical Oncology, Aichi Cancer Center Hospital, Nagoya, Aichi, Japan <sup>6</sup>Department of Endoscopy, Aichi Cancer Center Hospital, Nagoya, Aichi, Japan

Akimitsu Maeda, Department of Pharmacy, Aichi Cancer Center Hospital, 1-1 Kanokoden, Chikusa-ku, Nagoya, Aichi 464-8681, Japan. Email: m.akimitsu@aichi-cc.jp

Aims: Paclitaxel and nanoparticle albumin-bound (nab)-paclitaxel can cause early, extremely severe neutropenia, occasionally leading to fatal outcomes. As paclitaxel is a substrate of P-glycoprotein, this study aimed to investigate the impact of ABCB1 single-nucleotide variants, which encode P-glycoprotein, on early, extremely severe neutropenia in patients receiving paclitaxel/nab-paclitaxel plus ramucirumab as second-line therapy for unresectable advanced/recurrent gastric cancer.

Methods: We analysed patients treated at Aichi Cancer Center Hospital from January 2018 to August 2023, with DNA samples stored in the Cancer BioBank Aichi. The impact of ABCB1 variants T1236C (rs1128503), G2677T/A (rs2032582) and C3435T (rs1045642) on early, extremely severe neutropenia was examined. Neutropenia was defined as a decline in neutrophil count to <100/µL within 28 days of therapy initiation. Firth's logistic regression evaluated the association between the ABCB1 C3435T (rs1045642) TT genotype and early, extremely severe neutropenia, adjusted for age, sex, baseline neutrophil count, and serum albumin and aspartate aminotransferase levels.

Paculter Of the 202 eligible nationts 5 (2%) experienced neutropenia with neut

### 最後に



私達の健康や医療は、

過去の多くの人々からの贈り物です。







あなたの思いやりが、

がん医療の未来につながっていきます。

## ホームページのご案内







https://cancer-c.pref.aichi.jp/cbba/index.html

#### バイオバンク窓口のご案内



がんセンター病院2階 総合案内の裏 薬局の隣にあります。 ご質問等ございました ら、お気軽にお越しく ださい。

